

山部宿禰赤人の歌一首

三八四番

我がやどに 韓藍蒔き生ほし 枯れぬれど 懲り
ずてまたも 蒔かむとそ思ふ

仙柘枝の歌三首

三八五番

あられ降り 吉志美が岳を 険しみと 草取りか
なわ 妹が手を取る

三八六番

この夕 柘のさ枝の 流れ来ば 梁は打たずて
取らずかもあらむ

三八七番

古に 梁打つ人の なかりせば 二こにもあら
まし 柘の枝はも